

2020年度 JWU 女子高等教育センター活動報告

MESSAGE



2020年度のJWU女子高等教育センターの運営にご協力いただき、教職員の皆様には心より御礼申し上げます。特に外部から講師をお招きした「ニューノーマル時代の大学教育を考える」と題した連続講演は、WEB配信という形式を採用したこともあり、多くの教職員の皆様にご参加をいただき、知見を共有できましたこと、何より有難く思っております。次年度以降はさらに、本学の教育の基盤や理念を支える活動を行って参る所存ですので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

JWU女子高等教育センターは、本学の建学の精神、教育理念を実現するため、学生の視点に立った継続的な教育改革を教職協働で進め、本学における教育の質の向上に寄与することを目的とし、教学マネジメントの一翼を担う機関として2019年6月1日に設置されました。センター所長と5名のセンター委員及び事務局であるIR推進室を中心に教職協働で、全学的なFD・SD活動として研修やセミナーの開催、教育の質保証を推進するためのプロジェクトの設置など、教育改革を推進するための幅広い検討を行い、学内での課題共有、教育改革への理解促進に努めています。

2020年度は新型コロナウイルスの影響により活動が制限されるなか、遠隔授業に関するFD研修のオンライン開催をはじめ、大学の学長や企業の方を講師に招いたFD・SDセミナーをオンラインで4回にわたり開催するなど、特にFD活動を推進してまいりました。次年度からの委員会体制刷新に伴い、これまで学部FD委員会、大学院FD委員会等で行っていた活動もJWU女子高等教育センターが担うことになります。これまで以上に本学のFDを推進し、教育の質保証に努めてまいりますので、皆さまのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

MEMBER

センター所長：長谷川治久教授（理学部）

センター委員：平田京子教授（家政学部）、佐藤和哉教授（文学部）、金沢創教授（人間社会学部）、中西裕二教授（人間社会学部）、阿部秀樹教授（理学部）

事務局：IR推進室

PROJECT

教育の質保証に関する取り組みを推進するために、JWU女子高等教育センター規程第8条第2項に基づき4つのプロジェクトを設置し、プロジェクトメンバーにはセンター委員以外の教員にも参画いただきました。また、プロジェクト以外にも全学共通科目を担う新たな基盤教育（特に初修外国語）運営体制の構築やアセスメントプランの運用などについて、センター所長を中心に検討し、大学改革運営会議に提案いたしました。

①ルーブリック評価の試行

平田京子教授
佐藤和哉教授
教務・資格課
西生田学務課

②アセスメント・テストの活用方法検討
中西裕二教授
秋元健治教授
大学改革推進室
キャリア支援課

③新たなFD体制の構築

長谷川治久教授
平田京子教授
阿部秀樹教授
市川さおり講師
IR推進室/研究・学修支援

④ICTの活用、AI教育

長谷川治久教授
藤崎和香准教授
システム企画課
教務・資格課

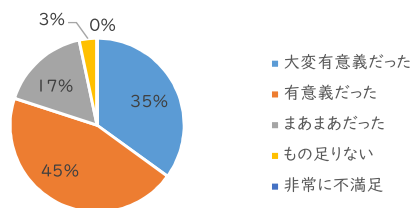
認定プログラムの提案—キャリア教育・社会連携教育/AI・DS・ICT 教育認定プログラム

JWU女子高等教育センターでは、2021年度のキャンパス統合を機に、多彩な授業を履修することにより、Society5.0の未来社会において新たな価値を見出す力、社会に出るための基盤となる知識や柔軟な思考力、社会へ発信する表現力、問題解決に向けた実践力を身に付けて、将来様々な分野でそれを発揮できる人材の育成を目指し、3つの認定プログラムの導入を大学改革運営会議へ提案し、2021年度入学者より適用されることが決定いたしました。

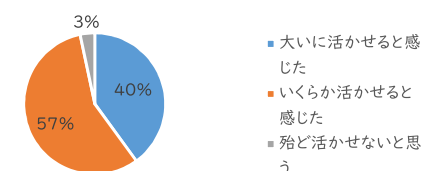
FACULTY DEVELOPMENT —遠隔授業に関するFD研修

新型コロナウイルスの影響により、本学で初めて全面的な遠隔授業が導入されたことに伴い、学部FD委員会とJWU女子高等教育センターに設置されたプロジェクト「新たなFD体制の構築」との共働により、「遠隔授業に関するFD研修」を6月25日（木）17時～19時に実施いたしました。本学のすべての専任教員、非常勤講師を対象にオンラインで開催した初めての試みです。実施に先立ち、全教員を対象とした遠隔授業に関するアンケート調査を行い、アンケート結果は当日の研修で共有されました。当日の参加者数は約60名、事後アンケートでは8割の参加者が「大変有意義だった」「有意義だった」と回答しています。

FD研修についての感想



研修内容は今後の授業に活用できそうですか



FACULTY DEVELOPMENT —セミナー「ニューノーマル時代の大学教育を考える」

新型コロナウイルスの影響により、従来の価値観や生活様式は急激な変化を迫られています。with コロナ、ニューノーマルといった言葉にあわされるような新しい社会の構築が進むとともに、今後の社会において充実した大学教育を実施するためには、遠隔・対面それぞれの特長を活かした教育を展開していくなど、大学教育も大きな変革の時を迎えています。JWU女子高等教育センターでは、常に先進的な取り組みをされている大学や企業などから講師をお招きし、今後の大学教育の在り方や大学が社会において果たすべき役割、大学に求められることなどについて、多面的かつ多様性に富んだ視点で考える機会とするために12月から3月にかけて合計4回のセミナーを行いました。60名前後の教職員が参加し、事後アンケートでは「対面型よりも参加しやすい」「質問がしやすい」などの意見が多く見られました。また、全ての回において8割以上の参加者が「大変有意義だった」「有意義だった」と回答するなど、満足度の高い充実したセミナーとなりました。

【ご講演者】出口 治明氏（立命館アジア太平洋大学学長）、北川 浩氏（成蹊大学学長）

田中 優子氏（法政大学総長）、中条 薫氏（株式会社 SoW Insight 代表取締役社長）

MESSAGE 本センターの設立2年目にあたる今年度は、ミッションを明確にし、具体的な成果が出始めた1年だったと感じています。ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。3つの認定プログラムは、女性が社会で活躍する上で大変に意義深い成果だったと思います。また、FDセミナーでは各講師のご指摘ひとつひとつが心に残りました。遠隔授業に関するFD研修は、非常勤講師の先生方も含めて実施でき、本学全体の教育に貢献することができました。女性の活躍が望まれる中、本学の真価を発揮すべきときの到来です。その要として、本センターの位置づけは一層重要になると考えます。今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

